



ユネスコ日本信託基金「若手研究者フェローシップ (ユネスコ・小淵恵三フェローシップ)」15周年記念行事の開催

2019年9月25日

9月24日、キューバ・ユネスコ国内委員会において、ユネスコ日本信託基金「若手研究者フェローシップ（ユネスコ・小淵恵三フェローシップ）」15周年記念行事が、同国内委員会、日本国大使館およびユネスコ事務所の共催で開催されました。

この行事には、日本から小淵千鶴子元総理夫人および長女・鈴木暁子氏が出席し、さらに藤村和広大使、アナ・ゴンサレス外務次官、レオン・ハコミノ文化次官、オスカル・レオン・ゴンサレス・ユネスコ国内委員会委員長、カテリーン・ミュラーマリン・ユネスコ事務所代表、キューバ人フェロー7名など約40名が出席しました。

冒頭、レオン・ゴンサレス・ユネスコ国内委員会委員長は、本奨学金はユネスコの高尚な理念の現れであり、この行事を小淵恵三元総理大臣のご家族と一緒にすることができ、光栄であると述べ、歓迎の意を示しました。

次に全10名のキューバ人フェローを代表し、ヒセレ・イレアナ・アウティエ・カストロ氏が、研究活動は試練を伴うものであったが本奨学金の貴重な支援により成果を上げることができたことへの謝意を述べました。

続いてミュラーマリン・ユネスコ事務所代表が、日本政府とユネスコは国連信託基金を通じ途上国における人材育成を支援しており、今後も小淵元総理の崇高な理念を維持していくため努力する旨述べました。

最後に、現在フェローとして国外で研究活動中のカミラ・バルデス・レオン氏のメッセージが代読された後、小淵夫人がご挨拶を行いました。小淵夫人は、故小淵元総理は若者への支援を大切にしていたため、この奨学金が若手研究者の役に立っていることを喜んでいるであろうと述べ、それぞれの研

究が国と世界の発展につながることを祈念すると述べました。

その後、管弦五重奏“Ventus Habana”によるキューバの曲目が演奏されました。



また、同日夜、日本大使公邸にてフェローたちを招いて夕食会が開催されました。



今後もこのフェローシップがキューバ、そして世界の若手研究者の為に
なっていくことが期待されます。

[ユネスコの行事次第はこちらをクリック](#)
[小淵夫人のご挨拶はこちらをクリック](#)

広報文化班
在キューバ日本国大使館
電話: (+53) 7204-3355, 7204-8904
メールアドレス: cultura@hv.mofa.go.jp
www.cu.emb-japan.go.jp
https://web-japan.org/index_es.html